

DT-930 マニュアル正誤表(含補足) 第一版

カシオ計算機株式会社
国内営業統轄部
IT推進部

ページ	項目	修正後	修正前
20	表2. 8 フラッシュディスク機能詳	同時オープン数 1	同時オープン数 16
30	2.2.2. dat_OSVer_Read	*. **△△*. **. **△△ ” バージョンNO 年月日 △:スペース	*. ****△*. **. **△ ” バージョンNO 年月日 △:スペース
103	4.1.5. キーコードの設定	※1 バーコード読み込み開始機能はマルチファンクションキーに対してのみ設定することが可能です。トリガーキーはデフォルトでバーコード読み取り開始機能を持っており、キーコードを設定で	※1 バーコード読み込み開始機能はトリガーキー/マルチファンクションキーに対してのみ設定することが可能です。
105	4.1.6. キー通知設定	マルチファンクションキーL、マルチファンクションキーRのイベントフラグについては、以下のビットパターンで設定、判別してください。 FL_FK_INT_MLTL	(記述なし)
107	.1.8. キーバッファ	削除(キーバッファは指定した空間に設ける機能はありません。)	キーバッファは指定した空間に設けることができます。初期化時、キーバッファサイズ/キーバッファ開始アドレスをキー管理テーブルに設定しています。
114	4.3.2. key_string	補足 4 key_string関数でバーコード読み込み完了イベント発生で終了した際、バーコードデータ格納先をキーバッファに切り替えてある場合に、キーバッファには読み込んだバーコードデータが格納されています。 格納先をキーバッファにした場合、OBRイベントは発生しないことにご注意ください。	(記述なし)
120	4.3.7. key_fnc_mode	補足2 ビットパターンの設定値はマルチファンクションキーL、Rそれぞれ以下を使用してください。 FL_FK_INT_MLTL FL_FK_INT_MLTR マルチファンクションキーL、RのイベントフラグIDには以下を指定してください。 FL_FK_INT_ID	(記述なし)

DT-930 Cライブラリ解説書(2/2)

ページ	項目	修正後	修正前
146	動作モードテーブル	UPCE チェックキャラクタ=0(出力無し)	UPCE チェックキャラクタ=1(出力有り)
291	8.4.17. BT_Err_Get	補足 エラーコードについては、8.3 エラー詳細を参照してください。 BTERR_PARITY, BTERR_OVERRUN, BTERR_FRAMING, BTERR_BREAK_EVNT, BTERR_LB0, BTERR_LB1, BTERR_LB2, BTERR_LB4, BTERR_LB5, BTERR_TIMEOUT については、複数のエラー要因が重なった場合に、BITMAP方式でORされてBT_Err_Getから戻ってくる事があります。	補足 エラーコードについては、8.3 エラー詳細を参照してください。
413	12.4.1. flg_sts	補足 フラグIDについてはCMNDEF.hをご参照ください。 /* LB通知モード */ #define FL_LB_INT_ID 0x0020 /* ファンクション通知モード */ #define FL_FK_INT_ID 0x0040 /* タイマ1登録用ID */ #define FL_TM1_INT_ID 0x0030 /* タイマ2登録用ID */ #define FL_TM2_INT_ID 0x0031	(記述なし)
356	9.9.7 cu_idle	script スクリプトファイル名エリア[ファイル名のみ。終端子0x00を含め最大13バイト] スクリプトファイルは、LMWINの「環境設定」→「通信設定」で指定する「作業ディレクトリ」に格納されているもののみ、起動出来ます。(複数指定およびワイルドカードは不可です) NULLを設定すると、相手局から受信したコマンドを実行します。	script スクリプトファイル名エリア[ファイル名のみ。終端子0x00を含め最大13バイト] (複数指定およびワイルドカードは不可です) 未設定時はNULLを設定します)
348	9.9.2. cu_fileSend	補足 送信ファイルを複数指定するときは2つの : (コロン) で区切ります。 例: "A:¥¥abc.dat::A:¥¥bbb.dat"	(記述なし)

DT-930 ソフトウェア解説書

ページ	項目	修正後	修正前
45		NW-7 S:スタートコード(A,B,C,D のいずれか) E:エンドコード(A,B,C,D のいずれか)	NW-7 S:スタートコード(a,b,c,d のいずれか) E:エンドコード(a,b,c,d のいずれか)
56	2.10.3. 通知モード時の動作	マルチファンクションキー(L, R)の動作はユーザファンクションキーと同じです。	(記述なし)
57	2.10.4. イベントフラグ	①ユーザファンクションキー1~8	①ユーザファンクションキー0~9
57	2.10.4. イベントフラグ	補足 (個別通知)するために、key_fnc_mode関数で通知設定すればイベントとして扱えます。	(記述なし)